

# 令和7年度 上尾市立芝川小学校 学校評価書

自己評価の評価基準： A…十分達成している B…ほぼ達成している C…やや達成している D…改善する必要がある

学校関係者評価の評価基準： 自己評価と同じ評価の場合は、自己評価は妥当であると判断。異なる場合は、学校関係者評価委員会としての見方を示す。

領域	評価項目	自己評価	○成果 ●課題、改善点	学校関係者評価		
				関係者評価	意見・提言	
学校運営	①	「元気・やる気・あいさつ」を基盤に、チーム芝川小として組織的に学校運営に取り組むことができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管理職が明るく元気な風通しのよい職場づくりを行い、教員一人一人が意欲的に児童の指導にあたることで、明るく元気な活気あふれる学校づくりが実現できている。</li> <li>○学年主任や教科等主任が見通しをもち、仕事を割り振ったり、協働したりしてチームワークよく仕事を進めることができた。</li> <li>○教職員の雰囲気・チームワークが良く、指導や校務関係において協力体制ができている。笑いあふれる芝川小学校の一員として働けていることを幸せに思っている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校長を始め、教職員一人一人が明るく、活気に溢れている。児童からも元気に生活している様子が伝わってくる。</li> <li>○教職員のチームワークのよさをとても感じられる。</li> </ul>
	②	生徒指導・教育相談・特別支援教育における校内体制を充実させることができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内の生徒指導委員会・いじめ対策推進委員会を毎月行うことで、学校で起きている様々な問題や指導方針を共有でき、学年学級の枠を越えて児童の指導にあたることができた。</li> <li>○特別な支援を必要とする児童については、教育相談主任を中心にケース会議を実施し、保護者との面談を行い、児童の実態に応じた環境づくりや支援を行うことができた。</li> <li>○「芝川小初期対応マニュアル」に基づいて、すぐに学年や管理職に報告・相談し、対応できる体制が定着している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童対応を適切に行っている様子が分かる。特に、特別な支援が必要な児童が、気兼ねなく登校でき、授業が受けられる環境づくりが素晴らしい。</li> <li>○生徒指導がとてもよくできている。</li> </ul>
生徒指導	③	「しっかりあいさつ・返事、しっかり聴く」について、指導を徹底することができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童や地域の方々によるあいさつ運動を定期的に行い、地域ぐるみでのあいさつへの啓発活動を行うことができた。</li> <li>○挨拶・返事・姿勢を意識させる指導を行ったことで、あいさつ、返事がよくなるようになってきているのを感じている。</li> <li>●学校外の地域の方へのあいさつや家庭内でのあいさつができなかったり、すぐに返事がなかったりすること等が課題である。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ運動への具体的な取組が素晴らしく、子供たちも挨拶をよくしてくれている。</li> <li>○地域の方への挨拶の充実は、防犯面からも検討が必要で、知っている人に対してきちんとできるようになるとよい。「行ってきます。」「お帰り。」の声が聞こえる地域にしたい。</li> <li>○挨拶は、児童の性格や家庭環境に依る部分が大きい。親も進んで挨拶できるよう、保護者に対するあいさつ運動も必要である。</li> </ul>
	④	主体的・対話的で深い学びの実現のため、授業の工夫・改善を行うことができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の中で意見を交わす場をつくり、発表する機会を多くしたことで、積極的な発言や子供どうしの活発な話し合いが多くみられるようになった。</li> <li>○学習の振り返りを毎時間続けることで、子供たちの学習の定着が進み、学習意欲を高めることができた。</li> <li>○不足していた教材・備品を必要に応じてすぐに購入できたことで、授業を充実させることができた。</li> <li>●授業内容や教科によっては対話的な活動ができない時もあるので、さらに充実できるよう工夫したい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレット端末を活用するなど、各学年、クラスで授業の工夫があり、児童が積極的に取り組む姿が見られた。</li> <li>○高学年の話し合い活動では、どのグループも活発に話し合っていてよかった。将来的に役立つ学習方法だと感じた。</li> <li>○対話的な活動が十分でない場合もあるとの意見もあるので、改善に取り組んでほしい。</li> </ul>
学習指導	⑤	家庭学習や読書活動を充実させ、自ら学びに向かう力や態度を育成することができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主学習の取組やタブレット端末の持ち帰りを強化したことで、学習への意識づけをおこなうことができた。</li> <li>○授業で図書室を進んで使ったり、1週間に1回本を借りるようしたりしたことで、読書を好きになる児童が増えた。</li> <li>○司書教諭や図書館支援員が毎学期イベントを考え、楽しんで本に親しめる工夫をしており、昨年度よりも進んで本を読む児童が増えた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習や読書活動が進んで行える工夫がされている。児童の自主性や学習意欲の向上に欠かせず、児童の成長のエンジンになるので、継続してほしい。</li> <li>○保護者に対して家庭学習への啓発を行い、協力の呼びかけを続けてほしい。</li> <li>○タブレット端末の使用による視力低下や書く学習の減少に配慮して指導してほしい。</li> </ul>

安心・安全・体力向上	⑥	道徳教育を充実させ、一人一人のよさを認め、かけがえのない存在として互いに大切にすることを育成することができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふれあいタイムで縦割り班活動を行うことで、いろいろな人と関わり合い、助け合おうとする気持ちを育てることができた。</li> <li>○授業参観で、全クラスが道徳を公開することで、保護者に授業の様子や全校で取り組んでいることを伝えている。</li> <li>○特別活動主任が中心となって、友達を大切に「しばかわ」の約束を作り、優しい心の育成に取り組んでいる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳の授業を参観したが、授業準備や児童の学習に参加する姿が充実している。</li> <li>○ふれあいタイムでの異年齢集団の関わり合い、助け合いがよい。互いに認め合おうとする精神を育む指導を進めてほしい。</li> </ul>
	⑦	教育環境の点検や整備を行い、安心・安全な学校を作ることができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月10日に安全点検を行い、壊れたり、異常があったりしたところは学校安全主任や管理職に報告し、すぐに直すことができた。</li> <li>○盗撮防止のため、教室などの整理整頓を行って校内の死角をなくしたり、教員の意識を高める研修を行ったりして、全職員で対策に取り組んだ。</li> <li>●廊下歩行について、児童に指導したり、廊下に掲示物を置いたりしているが、走る児童が多い。発達段階に応じた指導を行い、危険性を理解させていきたい。</li> </ul>	A	○芝川小学校は、複雑な作りで思わぬ怪我や事故の危険がある。特に低学年の児童は危険に対する感受性が低いので、危機意識の醸成を充実させてほしい。
	⑧	外遊びの励行や保健指導での健康管理等を行い、児童の健やかな体を育成することができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担任が進んで校庭に行き、児童と一緒に遊ぶようにしているので、多くの児童が元気に外遊びを楽しんでいる。</li> <li>○長距離走記録会の前にRUNタイムを行ったことで、進んで運動しようとする意欲が高められた。</li> <li>●今年は、5月～10月まで熱中症指数の高い日が多く、外遊びをする機会が少なくなってしまった。体力向上に向けて全校で何か取組をしていくことも必要だと感じている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○温暖化による猛暑により外遊びの機会が減少している。安全を考慮し、冷房の効く体育館での体力向上の取組を工夫改善し、体力を高めてほしい。</li> <li>○習い事で体力を高められる児童もいるが、そうでない児童の体力向上の機会を作ってほしい。</li> </ul>
情報発信	⑨	たよりやホームページ等を充実させ、保護者や地域に積極的に情報提供をすることができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年でホームページに毎月8つ以上の取組をアップし、学習や学校行事の様子を知らせることができた。</li> <li>○校内に各学年の取組を掲示するコーナーを作ったことで、児童や来校者にも本校の取組を見てもらえることができた。</li> <li>●行事等で忙しい時にはホームページの記事作りが難しくなるので、放課後にホームページ作成の時間を設定して作業時間を確保したい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校だより等のお知らせや児童の活動の様子が分かるホームページを通して、情報発信がよくなっている。</li> <li>○地域の人々も学校の様子を楽しみにしているので、作成を頑張ってほしい。</li> </ul>
教師の資質向上	⑩	校内外の研修に積極的に参加し、教師としての資質・能力を向上させることができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初任者研修での示範授業に向けて教材研究を深めたことで、児童が楽しくわかりやすい授業ができた。教師としての経験を積み、指導力を高めることができた。</li> <li>○東中学校区の小中一貫教育合同研修会では、3校の教員が集まって意見を交換することで各校の実践や課題を共有できた。</li> <li>●他市の授業研究会や教育センターの研修などがあるので、積極的に参加するようにしたい。</li> </ul>	A	○最近では教師がサラリーマン化していると言われるが、プロ意識を高める学校風土が大切である。特に若手教員は持続的な自己啓発に取り組む、教師としての成長と児童の育成に尽力してほしい。
	⑪	時間外在校等時間の削減を目指し、働き方を変える意識をもつことができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定時退勤推奨WEEKを年に数回行うことで、時間の使い方を計画的に考えられるようになった。</li> <li>○日課がそろったことで指導がしやすくなり、下校時刻も早いので放課後の時間に余裕ができた。学校がよりよくなるために、様々な部分で改善がなされているので、働きやすく児童も大変落ち着いている。</li> <li>●効率的な働き方を工夫したが、今後何を削減し、どうすると放課後の時間をより長くできるのか、考えていきたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日課の変更により、児童の学校生活のリズムが安定し、教師の負担改善も図られていてよい。</li> <li>○働き方改革は教師の資質向上のためにも重要であり、学校行事等の精選に全校で取り組み、将来を見据えた芝川小学校づくりに尽力してほしい。</li> </ul>